

## 希望のライフスタイルに応じ 一緒に考え応援します



宮嶋 千恵美さん

静岡県移住相談センター

首都圏在住者で静岡への移住に関心のある人の相談にのる移住相談員。仕事や新生活に向けたサポートをしている。

東京都にある静岡県移住相談センターで、静岡への移住に関心のある人の相談に応じる宮嶋さんは、「御前崎に住みたいと考える人は便利さを追求してはいません。人の温かさや自然の豊かさを肌で感じて、御前崎を好きになった人が多いです」と本市への移住希望者の傾向を話します。さらに、「御前崎市は職種も少ないわけではない、製造業をはじめ農業や漁業といった自分に合った仕事を見つけることができるという特徴もある」と続けます。



▲県の移住定住サイト(ゆとりすと静岡) 県内移住者の声や同センター開催の相談会情報が掲載される

一方で、本市は事務職が少なく、未婚の若い女性が移住しづらいという課題もあるといいます。しかし、子育て支援や教育が充実しており、保育園や幼稚園にも入りやすいため、結婚後の環境はとも強みになる要素だと話します。

宮嶋さんは「その人の希望する「働き方」や「暮らし方」の実現に向け、新たな生活に向けた第一歩を一緒に考えます。UターンやIターン希望者からのご連絡をお待ちしております」と笑顔で呼び掛けます。

## 西部地域での求人情報は多数 全力でサポートします



畑 洋文さん

ヤマハ発動機bizパートナー

静岡県移住相談センターとも連携し、主に県内西部の求人情報を紹介する。牧之原市出身。自身もUターン者。

畑さんは牧之原市の相良出身で、大学の卒業とともに東京都や愛知県豊橋市で仕事をしましたが、家庭の事情もあり、40歳を機に実家へ戻りました。このとき自身が仕事を探す際に人材紹介会社を利用した経験を他の人の役にも立てられたらと考え、現在の職に就いたといいます。



▲同社のホームページ 職種や働き方などから求人情報を探ることができる

現在の就職活動におけるツールでインターネットは必要不可欠。ほとんどの人が携帯電話やパソコンから情報を入手します。畑さんは「移住を希望する人のほとんどは、まずはじめにインターネットから情報入手します。たくさん企業が求人内容をSNSや情報サイトに掲載すれば転職を考えるといる人の目に留まる可能性が増え、若者や移住者の市内就職につながるのではないかと話します。

また、「弊社では、県西部の求人情報をたくさん扱っており、御前崎市から通勤できる西部地域の求人情報も保有しています。全力でサポートをさせていただきますので気軽に相談ください」と話します。